

作成日 2005年09月27日
改訂日 2012年05月07日(第5版)

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 ポロンク粉剤DL
会社名 保土谷UPL株式会社
住所 〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目4番1号 常和八重洲ビル
担当部門 事業部 営業グループ
電話番号 03-5299-8212 FAX番号 03-5299-8283
メールアドレス hodogayaupl@hodogaya-upl.com
緊急連絡先 保土谷UPL株式会社 事業部 営業グループ
電話番号 03-5299-8218
整理番号 0211

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	自然発火性固体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼損傷/眼刺激性	区分外
	皮膚感作性	区分外
	発がん性	区分1
	特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	区分1(呼吸器系)
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)	区分1(呼吸器系、腎臓)	
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分1

*記載がないものは、分類対象外または分類できない

GHS ラベル要素：
絵表示



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報: 発がんのおそれ

臓器(呼吸器系)の障害

長期にわたるまたは反復暴露による臓器(呼吸器系、腎臓)の障害

水生生物に非常に強い毒性

注意書き：

【予防策】 使用前に取扱い説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
指定された個人用保護具を使用すること。
取扱いの際には飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
環境への放出を避けること

【対応】

気分が悪い時は、医師に連絡すること。
暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の診断を受けること。
漏出物を回収すること。

【保管】 施錠して保管すること。

【廃棄】 内容物・容器は自治体の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名 エトフェンプロックス 2-(4-エトキシフェニル)-2-メチルプロピル 3-フェノキシベンゾエーテル
DEP ジメチル-2,2,2-トリクロロ-1-ヒドロキシエチルスホネート

別名 エトフェンプロックス/DEP 混合製剤

成分(別名)	エトフェンプロックス	DEP (トリクロロ)	結晶質一石英	鉍物質微粉等
含有量(%)	0.3%	4.0%	93.2%	2.5%
化学特性(示性式)	C ₂₅ H ₂₈ O ₃	C ₄ H ₈ Cl ₃ O ₄ P	SiO ₂	-
官報公示整理番号 化審法	(3)-3981	対象外	(1)-548	-
	安衛法	4(14)-178	2(3)-110	-
CAS番号	80844-07-1	52-68-6	14808-60-7	-

化学物質管理促進法 (PRTR 法)

： 第1種指定化学物質第64号 エトフェンプロックス

： 第1種指定化学物質第225号 DEP

4. 応急措置

吸入した場合 : 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動する。
呼吸していて嘔吐がある場合は、頭を横向きにする。
呼吸が止まっている場合、又は呼吸が弱い場合には衣類を緩め、呼吸気道を確保した上で人工呼吸(又は、酸素吸入)を行う。
身体を毛布などで覆い、保温して安静に保ち、直ちに医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぐ。
付着した製品を拭き取り、水又は微温湯で洗い流しながら石鹸を使って良く落とす。
外観に変化が見られたり痛みが続く場合には、速やかに医師の手当てを受ける。

目に入った場合 : 直ちに清浄な水で最低15分間洗浄した後、眼科医の手当てを受ける。
コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。

- 洗眼の際、まぶたを指で良く開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行きわたるように洗浄する。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、コップ 1-2 杯の水又は牛乳を飲ませて、直ちに医師の手当てを受ける。
可能であれば、指を咽喉に差し込んで吐き出させる。
被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。
毛布などで保温して安静に保つ。
- 応急処置をする者の保護 : 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。
- 医師に対する特別注意事項 : DEP の解毒剤として PAM (パム®) 及びアトロピンの併用が有効とされている。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 棒状水、霧状水、泡、粉末、二酸化炭素
- 火災時の特定の危険有害性 : 製品中に P、ハゲンを含有しているため、火災時に刺激性、あるいは有毒なヒュームを放出する。
- 特定の消火方法 : この製品自体は難燃性であるが、周辺火災の場合以下の措置を行う。
火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。
移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
容器、周囲の設備などに散水して冷却する。
消火活動は、可能な限り風上から行う。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、状況に応じた保護具を必ず着用する。
燃焼又は高温により有毒なガスやヒュームが生成するので、呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業の際は保護具を着用し、接触および粉塵の吸入を避ける。
- 環境に対する注意事項 : 環境への影響を起こさないよう、河川などに排出しない。
- 除去方法 : 漏出したものをすくいとり、又は掃き集めて紙袋又はドラムなどに回収する。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
危険なく出来るときは、漏出源を遮断し、漏れを止める。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 取り扱い場所は換気を良くし、その周辺での火気、スパーク、高温物の使用は禁止する。
電気機器類は必要に応じ防爆構造の物を用い、静電気対策も行う。
吸入、皮膚への接触を防ぎ、又、目に入らないように適切な保護具を着用する。
取り扱い場所の近くには、手洗い、洗眼などの設備を設け、取り扱い後に、手、顔などをよく洗う。
- 注意事項 : 取り扱う場合は、局所排気内、または全体換気のある場所で取り扱う。
みだりに粉塵が発生しないように取り扱う。
作業着等に付着した場合は、速やかに着替える。

保管

- 適切な保管条件 : 直射日光を避け、火気、熱源から遠ざけて保管する。
換気の良い冷暗所に保管する。
密栓した容器に保管する。
酸化剤並びに酸化性の強い物質との保管は避ける。
安全な容器包装材料 : 貼り合わせアルミはく袋、ポリエチレン袋、kraft紙袋

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 取り扱い場所には、全体換気装置を設置する。
密閉された装置、機器、又は局所排気装置を使用する。
取り扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設ける。

<エトフェンプロックス>

- 管理濃度 : 未設定
許容濃度
日本産業衛生学会(2002) : 3 mg/m^3
ACGIH(2002) : 未設定

<DEP>

- 管理濃度 : 未設定
許容濃度
日本産業衛生学会(2002) : 未設定
ACGIH(2002) : 未設定

<鉍物質微粉>

- 管理濃度 : 0.29 mg/m^3 (遊離珪酸含有率 41%の鉍物性粉塵として)
許容濃度
日本産業衛生学会(2001) : <遊離珪酸含有量 10%以上の粉塵>
(遊離珪酸含有量 41%として)
吸入性粉塵 0.29 mg/m^3 , 総粉塵 1.2 mg/m^3
ACGIH(2002) : <結晶質シリカ> TWA 0.05 mg/m^3 (呼吸性粉塵として)

保護具

- 呼吸器の保護具 : 防塵マスク, 送気マスク, 空気呼吸器
手の保護具 : 保護手袋
目の保護具 : 保護眼鏡, ゴーグル
皮膚及び身体の保護具 : 安全帽, 安全靴, 保護服

9. 物理的及び化学的性質

- 外観
物理的状态 : 固体
形状 : 粉末
色 : 類白色
臭い : 特異臭
pH : 5.0-7.0 (1%水分散液) 1)

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

: 知見なし
引火点 : 知見なし
爆発特性 : 知見なし
嵩比重 : 0.80-1.10 g/cc 1)
溶解性 : 知見なし

<本銘柄に関する情報が少ないため組成分の情報を記載する>

<エトフェンプロックス>

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

沸点 : 測定不可 (200°Cで分解) 2)
融点 : 37.4 °C 2)
引火点 : >110 °C 2)
爆発特性 : 爆発性なし 2)
蒸気圧 : 8.13×10^{-7} Pa (25°C) 2)
密度 : 1.172 g/cm³ (20°C) 2)
溶解性 : 水への溶解度 22.5 μg/L (20°C) 2)
オクタンール/水分配係数 : 6.9 (20°C) 2)

<DEP (トリクロロホン) >

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

沸点 : 298 °C (101.3 kPa) 1)
融点 : 83-84 °C 1)
引火点 : 146 °C (開放式, o-体), 117.2 °C (密閉式, p-体) 1)
爆発特性 : 知見なし 1)
蒸気圧 : 0.001 Pa (20°C) 1)
比重 : 1.73 (20°C/4°C) 1)
溶解性 : 水, エタノール, ベンゼン, 大部分の塩素化炭化水素系溶媒に可溶. エーテル, 四塩化炭素に難溶. 石油エーテルに不溶.
水への溶解度 15.4 g/100mL (25°C) 1)
オクタンール/水分配係数 : 0.48 1)

<鉍物質微粉>

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

融点 : >1,000 °C 2)
引火点 : 不燃性
爆発特性 : 不燃性
嵩比重 : 0.90-1.00 2)
溶解性 : 水に不溶

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の保管条件下では安定.
反応性 : 酸化剤等の強酸化性物質と反応する.
DEPはアルカリ性で徐々に分解する.
避けるべき条件 : 加熱, 強酸化性及びアルカリ性物質との混合や接触.
危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素, ハロゲン及びヒン化合物

11. 有害性情報

急性毒性 : ラット (雄, 雌) 経口 LD₅₀ >5,000 mg/kg 1)

マウス (雄, 雌) 経口 LD₅₀ >5,000 mg/kg 1)
ラット (雄, 雌) 経皮 LD₅₀ >2,000 mg/kg 1)

局所効果 : 知見なし
発がん性 : 区分1の成分 (結晶質—石英) を93.2%含むため、混合物として
区分1に分類される。

特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露)
: 区分1 (呼吸器系) の成分 (結晶質—石英) を93.2%含むため、混合物として
区分1に分類される。

特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露)
: 区分1 (呼吸器系、腎臓) の成分 (結晶質—石英) を93.2%含むため、
混合物として区分1に分類される。

<その他組成成分の情報を記載する。>

<エトフェンプロックス>

局所効果
眼刺激性 : 〇キギ なし
皮膚刺激性 : 〇キギ なし
感作性 : エルモット 陰性
慢性毒性・長期毒性 : ラット (雄) 経口 無影響量 3.7 mg/kg 3)
ラット (雌) 経口 無影響量 4.8 mg/kg 3)
イヌ (雄) 経口 無影響量 33.37 mg/kg 3)
イヌ (雌) 経口 無影響量 32.19 mg/kg 3)

発がん性 : なし

変異原性 : Ames 試験 陰性
染色体異常試験 陰性
DNA 損傷 陰性

催奇形性 : なし
生殖毒性 : なし

<DEP (トリクロルホン)>

局所効果
眼刺激性 : 〇キギ 弱い
感作性 : エルモット 陽性
発がん性 : なし
変異原性 : Ames 試験 弱陽性 1)
染色体異常試験 陽性 1)

<鉱物質微粉>

発がん性 : <結晶質シリカ>
IARC グループ 1
ACGIH A2

その他 : 長期間大量に吸入すると塵肺症を発症する可能性がある。

12. 環境影響情報
生態毒性

魚毒性 : コイ LC₅₀ (96H) 1000 mg/L 以上 1)
その他 : ジンコ EC₅₀ (48H) 0.00103mg/L 1)
: 緑藻 E_bC₅₀ (0-72H) 265 mg/L 1)

<本銘柄に関する情報が少ないため組成成分の情報を記載する>

<エトフェンプロックス>

残留性/分解性 : 水田状態圃場推定半減期
沖積土 約 62 日, 火山灰土 約 79 日 3)
畑状態圃場推定半減期
洪積土 約 9 日, 火山灰土 約 39 日 3)

その他

公共水域等における水質評価指針値 : <0.08 mg/L

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。

焼却処理を行う場合

- 1) 可燃性溶剤に溶解又は混合し、アークバーナー及びスクラパー付きインシレーターの中で焼却する。
- 2) 焼却室の温度は完全に分解させるために、800℃以上に保持する。
- 3) 焼却時に有毒ガス (NO_x, ハロゲン化物, リン化物等) が発生するので、焼却排ガスの処理対策を講ずる。

汚染容器・包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国連分類 : 国連定義の危険物に該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件

: 容器の破損、漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないよう積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。
法規に規定された基準に従って輸送する。

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 施行令第 18 条の 2 (名称等を通知すべき有害物)
(311 号 シカ)

水質汚濁防止法 : 施行令第 3 条 水質汚染環境項目 (リン含有量)

農薬取締法 : 登録番号 第 18070 号

16. その他の情報

引用文献 : 化学物質管理促進法 PRTR・MSDS 対象物質全データ (化学工業日報社)

- 1) 自社データ
- 2) 他社データ (購入原料 MSDS)
- 3) 他社データ

: 製品安全データシート

ポロンク粉剤 DL : 三井化学株式会社 (2003 年 11 月 1 日)

記載内容は、現時点で当社が入手した資料・データ等に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。

又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

中毒の緊急問い合わせ先 : 財団法人 日本中毒情報センター

中毒110番	一般市民専用電話 (通話料のみ相談者負担)	医療機関専用有料電話 (一件につき2,000円)
大阪 (365日、24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365日、9時~21時対応)	029-852-9999	029-851-9999